

『風は南から』

令和7年度 校長室便り
(2月6日)(第24号)



「まずは自分のことから」

2月2日(月)の全校朝会(1・2年のみ)で私は、能登半島地震で被災した、七輪を製造している丸和工業等を支援している東京都在住の高校1年生「波田野優」さんの活動を紹介しました。

波田野さんは、焼き鳥屋を営んでいる父親が「七輪は珠洲産が一番だ」と言っていたことを思い出し、調べると丸和工業の工場が被災したことを知り、自分で募金活動を始めました。そして1年3ヶ月後集まった募金を珠洲に届けた際に、「復興は道半ば」の現状を知り、頑張っている能登の人々の思いを周りに届けるために「すずの声新聞」を作成しました。私は1月5日付の南日本新聞の記事で、彼女が新聞代から印刷代を引いた代金を被災地の募金に充てていることを知り、すぐに連絡を取り購入しました。「すずの声新聞」には、珠洲で波田野さんが出会った人々がつらい思いを抱えながらも必死に頑張っている様子が、手書きで丁寧に書いてありました。この新聞がご縁で、彼女から沖高の生徒に向けたビデオメッセージが届きました。

皆さんも、彼女のように、自分の周りにある課題に気づき、その解決に向けて自分にできることを考え、行動できる高校生であってほしいと思っています。

「今年も県下一周駅伝に出場します」



2月21日(土)から5日間にわたって開催される「第73回県下一周駅伝」に、今年も数学科の蔵満周平先生が出場することになりました。ご出場おめでとうございます。

毎日の忙しいスケジュールの中から時間を割いて練習し、複数回の選考会を経て選出されました。夏場はひと月で約700キロも走るそうです。今年も「沖永良部高校」と書かれたユニフォームで出場し、沖高の宣伝もして下さる予定です。蔵満先生の健闘をお祈りします。皆さんの応援も宜しくお願いします。

「第61回島内一周駅伝」



2月1日(日)毎年恒例の「第61回島内一周駅伝」が開催され、16チームが健脚を競いました。本校からもボクシング部・バスケットボール部・サッカー部が参加しました。朝9時に和泊町役場を出発し、国頭まで行き田皆方面へ進み、知名町役場を通して、また和泊町役場まで帰ってくるという過酷なコースになります。選手を集めるだけでも大変なことです。私も応援することが好きなので、伊延港前、住吉字、沖高付近の3カ所に移動し、選手が通過するのを見届けました。応援する側も、移動してもだいたい同じ人たちと出会うので、考えが同じで面白かったです。

選手の皆さん、バイクで伴走された顧問の先生方、小雨の降る中本当にご苦勞様でした。頑張っている姿を見て元気と勇気をもらいました。

写真のプレゼント



1月27日(火)に校長宛に1通の封筒が届きました。中には数枚の写真と心温まる2枚の手紙が入っており、1枚は校長宛でもう1枚は2年生の作田さん宛でした。

「優秀賞受賞おめでとう。2年続きでの受賞凄いな。『私の未来は私の翼で』のタイトルに合わせたの絵。主題とぴったりですね。(省略)」

作田さんは、今年も「人権に関するポスターコンクール」に応募し見事優秀賞を受賞。その作品が他の入賞作品と一緒に、12月4日から10日まで山形屋の3階渡り廊下に展示してあり、それをご覧になった徳丸さん(鹿児島市在住)が作品を見た感想と撮った写真を送付して下さったようです。実は、昨年と同じように送付して下さっていました。早速お礼の電話を入れました。

離島からわざわざ展示だけを見に来ることは難しくそうなので、展示の様子を知らせてくれて写真におさめたということでした。徳丸さんは、元教員で生徒を励ますためにこのような活動を続けておられるそうです。本当にありがたく心温まるお手紙でした。

「第3回 Joint Concert」



1月31日(土)あしびの郷ちなにて「第3回 Joint Concert」が行われ、知名小学校金管バンド、3中学校の吹奏楽部、本校の吹奏楽部、大人の団体シーブリーの演奏がありました。音楽を通じて

世代を超えたつながりを育むことを目的に始まり、今年で3年目だそうです。



本校の吹奏楽部も普段は少ない人数で練習しているので、共に音楽を志す仲間が一同に会して合同で演奏できることは、本当にありがたいことです。小中学生のMCによる曲の紹介やパフォーマンスも緊張感が伝わり、微笑ましく感じました。

最後の全員合奏は迫力があり、小学生から大人まで力を合わせて奏でるハーモニーは本当に素晴らしく、心に響きました。

「スポーツ競技力向上講座」



1月31日(土)知名町民体育館にて、「沖高教育振興事業」の一環で、講師に尾堂鍼灸整骨院の尾堂学先生をお招きして、「スポーツ競技力向上講座」を実施しました。

尾堂先生は、県内の高校の運動部のトレーナーとしても活躍されており、選手に身体を痛めない動き方や運動指導、生活習慣指導等、選手の身体に配慮したトータルサポートを行ってられます。

当日は「小中学生の部」と「高校生・指導者の部」に分けて、90分間のワークショップを行っていただきました。身体の構造や立位姿勢、ゼロポジション等、私も初めて聞く話ばかりで、特にケガの8割が自分の動き(オーバーユースと間違った使い方)に原因があると聞いた時は衝撃でした。自分の身体のことをよく知ったうえで身体を動かすと、意識しない時と比べてパフォーマンスが全く異なることがよくわかりました。大変勉強になる講座でした。